**MITSUBISHI**

9602R870HD4801

三菱換気空清機 クリーンロスナイ

形名

# VL-30SL
# VL-30SL-BE

## 取付説明書

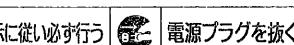
この製品は既築の換気口などを利用して、雨のかからない処置がしてあればお客さま自身で取付けることができます。
新規に壁穴をあける場合や、雨がかかるところへ取付ける場合は、販売店または専門の工事店へ取付工事をご依頼ください。
販売店または専門の工事店で取付工事をされた場合は別冊の「取扱説明書」を必ずお客さまに渡してください。
取付工事を始める前に必ずこの取付説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

# 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

●表示と図記号の意味は、次のとおりになっています。

| ⚠警告 | 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの | ⚠注意 | 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの |
|---|---|---|---|

| 記号 | 意味 | 記号 | 意味 | 記号 | 意味 | 記号 | 意味 | 記号 | 意味 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 禁止 | | 分解禁止 | | 水場での使用禁止 |  | 指示に従い必ず行う |  | 電源プラグを抜く |

## ⚠警告

| | |
|---|---|
|  | ●交流100V以外では使用しないでください。<br>（火災や感電の原因になります） |
|  | ●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。<br>（火災・感電・けがの原因となります） |
|  | ●浴室など湿気の多い所には設置しないでください。<br>（感電・漏電の原因になることがあります） |
|  | ●外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込んだり、積雪で埋もれたりしない位置を選んでください。<br>（新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります）<br>●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。<br>（落下によりけがをすることがあります） |

## ⚠注意

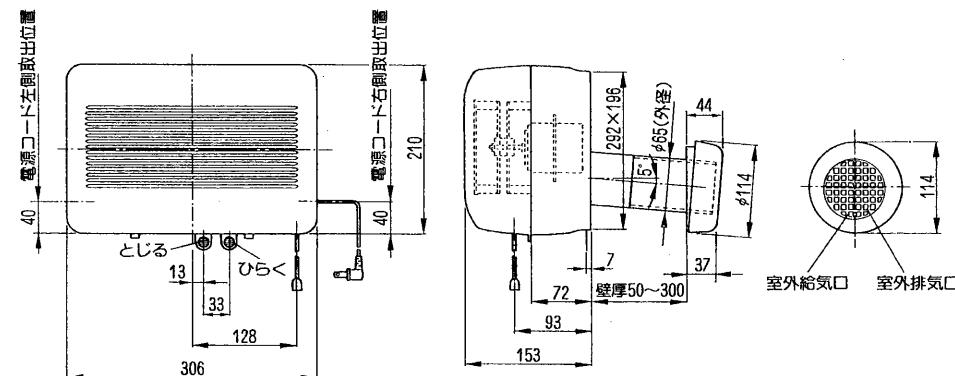
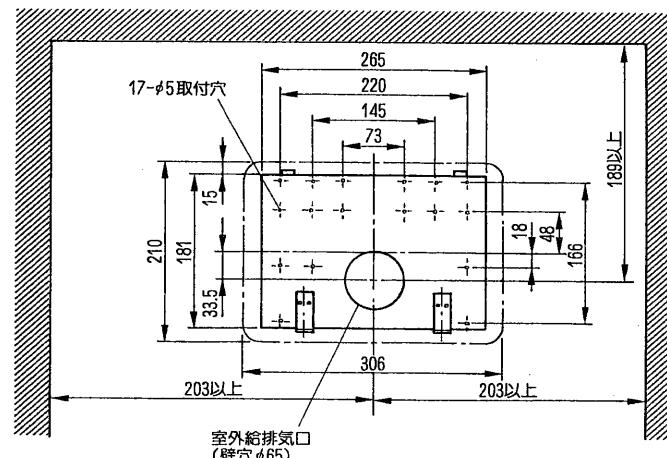
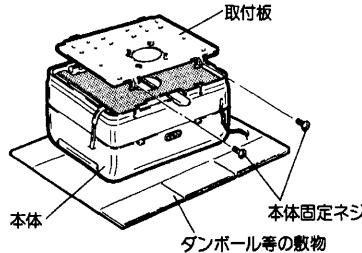
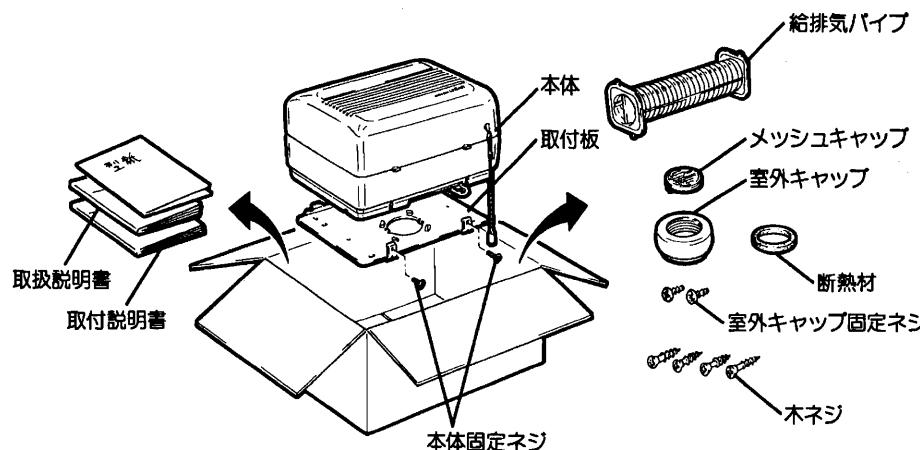
| | |
|---|---|
|  | ●壁取付専用です。天井には取付けないでください。<br>（落下によりけがをすることがあります）<br>●高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けないでください。<br>（火災の恐れがあります） |
|  | ●雨がかかる所へ取付ける場合は、給排気パイプは室外に向って下りこう配になるように取付けてください。<br>（雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります）<br>●雨がかかる所へ取付ける場合は、システム部材の屋外フードを取付けてください。<br>（雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります） |
|  | ●取付け後長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。<br>（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります） |

# 外形寸法図

## 取付板寸法

単位(mm)

# 取付方法

## 開　梱

**本体から取付板をはずす。**

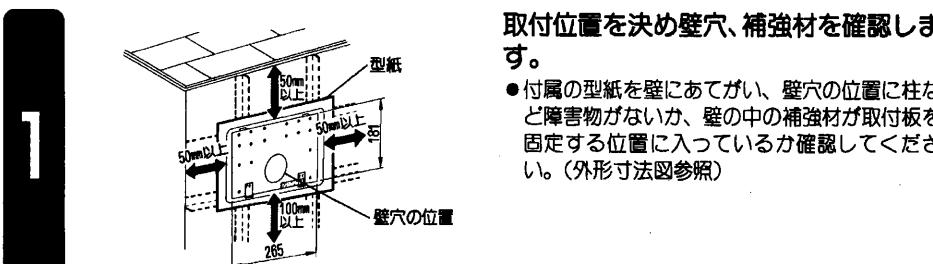
- 本体固定ネジ2本をはずして取付板を本体から取りはずします。

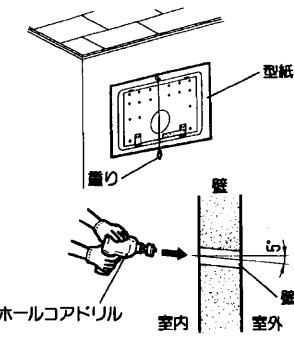
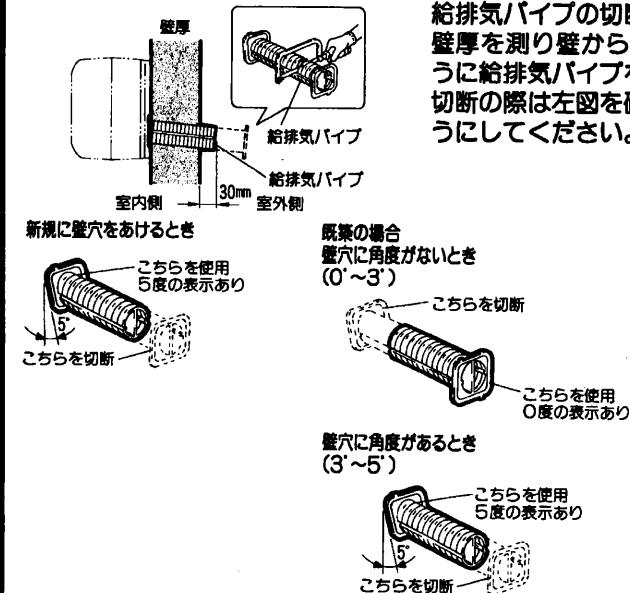
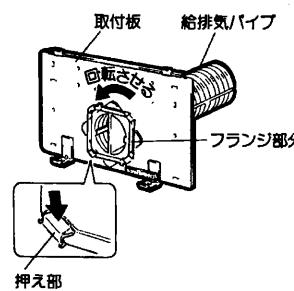
お願い

- **本体固定ネジは本体の取付け時に必要です。なくさないよう保管してください。**
- **本体に傷が付かないようダンボールなどの敷物をして保護してください。**

## 壁穴工事

**この製品はエアコン用の壁穴や換気口(丸穴・角穴)を利用して取付けることもできますが、最初に新規に穴をあける場合を示し、既築の場合は室外側工事でまとめて示します。**

### 1

**取付位置を決め壁穴、補強材を確認します。**

- 付属の型紙を壁にあてがい、壁穴の位置に柱など障害物がないか、壁の中の補強材が取付板を固定する位置に入っているか確認してください。(外形寸法図参照)

### 2

**型紙を固定し、φ65〜φ75のホールコアドリルなどで給排気パイプを通す壁穴をあけます。**

- 左図のように重りを吊下げて型紙の中心線に合わせますと水平が求められます。
- 雨水の浸入防止のために必ず室外側に約5°の下りこう配となるようあけてください。

## 取付け前の準備

### 1

**給排気パイプの切断**
**壁厚を測り壁から30mm室外側へ出るように給排気パイプを切断します。**
**切断の際は左図を確認し、間違えないようにしてください。**

**新規に壁穴をあけるとき**

**既築の場合**
**壁穴に角度がないとき**
**(0°〜3°)**

**壁穴に角度があるとき**
**(3°〜5°)**

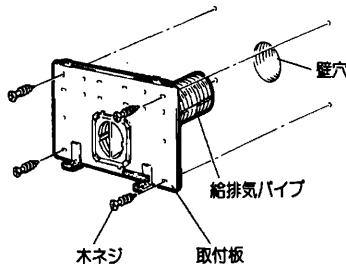
### 2

**給排気パイプを取付板に固定**

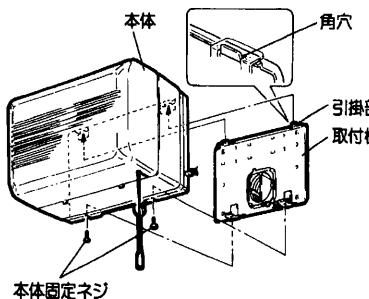
(1)給排気パイプを取付板に「シタ」印を下にして差し込み、フランジ部分が取付板の押え部に当たるまで給排気パイプを左に回転させます。
(2)取付板の押え部をフランジ部に押えつけて固定します。

# 取付方法 つづき

## 本体の取付け

**1**

### 取付板の取付け

- 給排気パイプを壁穴に通し付属の木ネジ4本で取付板を壁に固定します。
  (木ネジは均等な位置で固定してください。)
- コンクリート壁の場合は、コンクリートビスなどで固定してください。

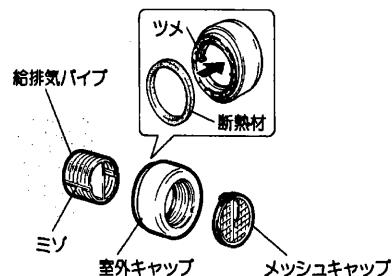
**2**

### 本体の取付け

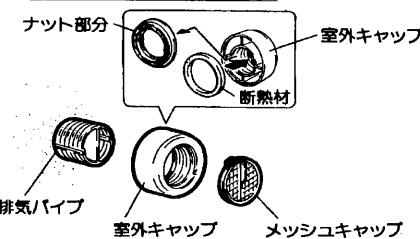
1. 本体背面上部の角穴(2か所)を取付板上部の引掛部に引っかけます。
2. 本体下部の角穴を取付板の止め金具に差し込み本体固定ネジ2本で下側から固定します。

## 室外側工事

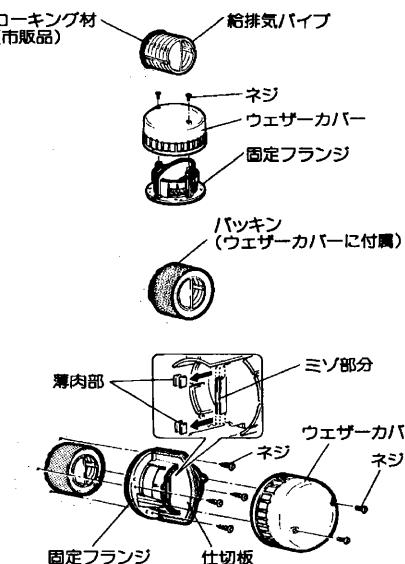
**室外側工事は雨が直接かからない場合と外壁に雨がかかる場合では取付けかたが異なります。また既築の壁穴を使用する場合も異なります。**

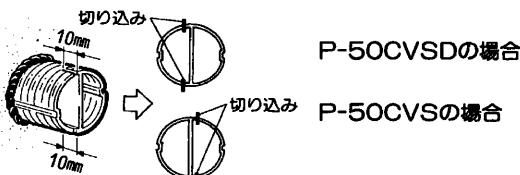
### 雨が直接かからない場合

**壁穴に角度があるとき(3°~5°)**

1. 付属の断熱材を室外キャップの壁接触面に貼付けます。
2. 室外キャップの切り欠部を下側にしてツメを給排気パイプのミゾに合わせて給排気パイプに回し込みます。
   - 外壁と密着するまで回してください。
3. メッシュキャップを室外キャップにはめ込みます。
   「パチン」と音がします。
   - 中央のミゾに給排気パイプの仕切板が入るようにします。

**壁穴に角度がないとき(0°~3°)**

1. 室外キャップからナット部分をはずします。
2. 付属の断熱材を室外キャップの壁接触面に貼付けます。
3. 室外キャップを給排気パイプに回し込みます。
   - 外壁に密着するまで回してください。
4. メッシュキャップを室外キャップにはめ込みます。
   「パチン」と音がします。
   - 中央のミゾに給排気パイプの仕切板が入るようにします。

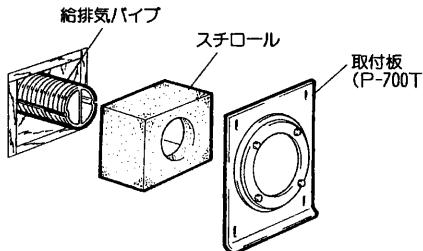
### 外壁に雨がかかる場合 ……壁穴には3°~5°の角度をつけてください。

**システム部材のウェザーカバー(P-50CVP)を使用します。**

1. 給排気パイプと外壁のすき間を市販のコーキング材で埋めます。
2. ウェザーカバーの固定ネジ(2本)をはずし、ウェザーカバーを取りはずします。
3. 給排気パイプの先端にウェザーカバーに付属のパッキンを巻き付けます。
4. 仕切板中央のミゾ部分の薄肉部を切りとります。
   - 仕切板の上印を上に、中央のミゾを給排気パイプのミゾに合わせます。
5. 固定フランジとフランジナットおよび仕切板が一体になったものを給排気パイプに通します。
6. 固定フランジを壁に市販の木ネジ(4×20)4本で固定します。
   - コンクリート壁の場合は、コンクリートビスなどで固定してください。
7. ウェザーカバーを固定フランジにウェザーカバーに付属のネジ(2本)で固定します。

**上記以外にもシステム部材のステンレス製フード(P-50CVS、P-50CVSD)が使用できますが給排気パイプの室外側に切り込みを入れ断熱材(ステンレス製フードに付属のものを切断して)を貼る必要があります。(仕切板挿入のため)**

**取付けについてはステンレス製フードに同梱の取付説明書を参照してください。**

## 既築の場合

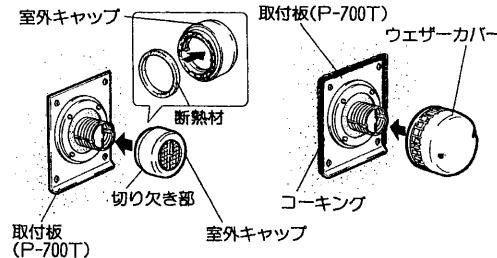
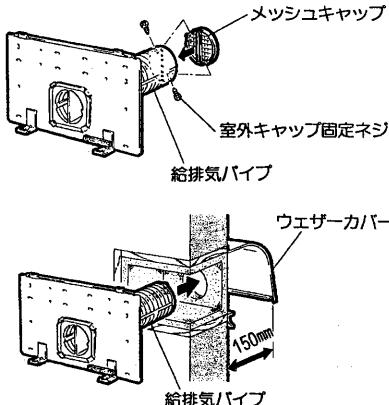
- 丸穴でも角穴でも同様に取付けます。
- 外壁に雨がかかる場合は必ず給排気パイプに下りこう配(3°～5°)をつけてください。
- ウェザーカバーがすでについている場合、ウェザーカバーを取りはずして、当社の別売のシステムフードのご使用をおすすめします。また、取りはずせない場合でも、ウェザーカバー内に150mm以上の空間があればロスナイの取付けが可能です。

### 角穴(150以下×200以下)・丸穴(φ65～φ100)の場合

(壁穴が大きくて取付板の固定位置と壁穴のふちが10mm以上ない場合は補強材が必要です。)

1. 角穴は給排気パイプが通る部分を残しスチロール等ですき間をおおいます。
(丸穴の場合は断熱材(市販品)を巻く)

2. 屋外側にシステム部材の取付板(P-700T)を取付けます。
- 取付方向に注意し、P-700T同梱の取付説明書に従ってください。

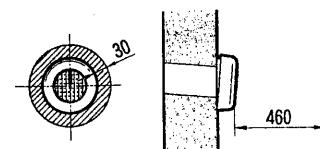
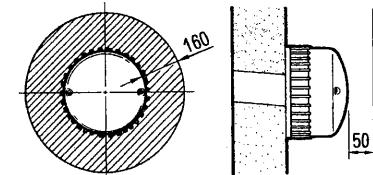
雨がかからない場合　外壁に雨がかかる場合

3. 雨がかかる場合とかからない場合により室外キャップまたはウェザーカバー(P-50CVP)を取付けます。

### ウェザーカバーが取りはずせない場合

1. 給排気パイプの先端にメッシュキャップを取付けます。
(1)メッシュキャップの中央の仕切りを給排気パイプの中央のミゾに合わせてはめ込みます。
(2)付属の室外キャップ固定ネジ(2本)で給排気パイプの外側から固定します。

2. ウェザーカバー内に150mm以上の空間があればそのまま給排気パイプを室内側から差し込みます。

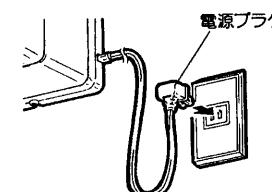
## 屋外の障害物の確認

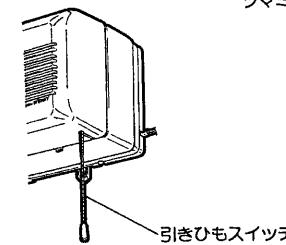
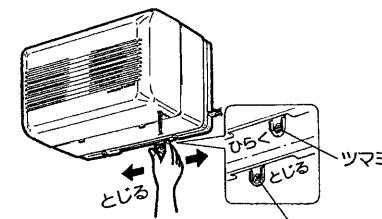
十分な換気をするために次の範囲内に障害物のないことを確認してください。

### 同梱の室外キャップの場合

単位(mm)

### システム部材のウェザーカバーの場合

単位(mm)

# 試運転

**■電源プラグをコンセントに差し込みます。**

専用コンセント(単相100V)を使用してください。

**■シャッターの開閉動作の確認**

運転停止時、外風の侵入を防止するため本体後側にシャッターが取付けてあります。左図のように手でツマミを動かしてスムーズに動作するかを確認してください。

**■運転状態の確認**

シャッターが「ひらく」の状態で引きひもを引き正常に運転するかを確認してください。

1回引く→運転開始
2回引く→運転停止

**■異常な振動・騒音がないか確認してください。**


三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508　岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話0573-66-2111